

平成25年度 全国学力・学習状況調査について豊田市の状況報告

教科の状況

- ・全国学力・学習状況調査の対象であった市内小学校6年生と中学校3年生全体の状況を、全国公立校全体の状況と比較して、教科別・区分別に次の3段階で示しています。
「たいへんよくできている」「おおむねできている」「努力を要する状況である」
- ・それぞれの教科で、特に優れている内容と課題のある内容の一部を紹介しています。

＜小学校6年生の状況＞

	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
国語	努力を要する状況である ・ 広告を読み、編集の特徴を捉えることがよくできる。 ・ 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書くことに課題がある。 ・ ことわざの意味や文の定義を理解することに課題がある。	努力を要する状況である ・ 目的や意図に応じ、複数の内容を関係付けながら自分の考えを具体的に書くことがよくできる。 ・ 目的や意図に応じ、必要な内容を適切に引用して書くことに課題がある。 ・ 相手の意図を捉えながら聞き、適切に助言をすることに課題がある。
算数	おおむねできている ・ 合同な三角形をかくために必要な条件をよく理解している。 ・ 示された位までの概数にするときの方法についてよく理解している。 ・ 小数の加法の計算を正しくすることに課題がある。	おおむねできている ・ 割合が同じで基準量が増えているときの比較量の大小を判断し、その理由を記述することがよくできる。 ・ 示された式に数値を当てはめて計算し、計算の結果の大小を基に判断することがよくできる。 ・ 示された平均を求める式から、その計算の結果が何を求めているか理解することに課題がある。

＜中学校3年生の状況＞

	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
国語	おおむねできている ・ 文脈に即して漢字を正しく書くことがよくできる。 ・ 比喩を用いた表現について理解することがよくできる。 ・ 語句の意味をよく理解し、文脈の中で適切に使うことに課題がある。	おおむねできている ・ 文章の展開に即して内容を捉えることがよくできる。 ・ 漢字の特徴を捉えて、自分の考えを具体的に書くことがよくできる。 ・ 図と文章との関係を捉えることに課題がある。
数学	たいへんよくできている ・ 簡単な場合について確率を求めることがよくできる。 ・ 空間における2直線の位置関係を理解することがよくできる。 ・ 正の数と負の数の意味を、実生活の場面に結び付けて理解することに課題がある。	たいへんよくできている ・ 文章で図を推測し、個数を求めることができる。 ・ 文字式の意味を理解し、正しい図を選ぶことができる。 ・ 方針に基づいて証明することに課題がある。

学習・生活習慣等の状況

学習・生活習慣等の状況調査の項目について、全国と比較して割合の高いものと低いものについて代表的なものを紹介します。

<小学校6年生の状況>

- ・「朝食を毎日食べる」「家の人と普段（月～金曜日）夕食を一緒に食べている。」「家の人（兄弟姉妹除く）と学校での出来事について話をしている」児童の割合は高い。
- ・「自分には、よいところがあると思う」児童の割合は高い。
- ・「学校のきまりを守っている」児童の割合は極めて高い。
- ・「今住んでいる地域の行事に参加している」児童の割合は極めて高い。
- ・「算数の勉強は好き」「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートを書いている」と答える児童の割合は高い。
- ・「本を読んだり、借りたりするために、学校図書館や地域の図書館によく行く」「読書が好き」と答える児童の割合は高い。
- ・「普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っている」「普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられている」と答える児童の割合は高い。
- ・「普段3時間以上テレビやビデオ等を見る」「3時間以上ゲームをする」児童の割合が高い。
- ・「学校が休みの日に2時間以上勉強する」「月～金曜日に、1時間以上勉強する」「家で、学校の授業の復習をしている」児童の割合は低い。
- ・「400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くのは難しいと思う」児童の割合は高い。

<中学校3年生の状況>

- ・「朝6時までに起きる」生徒の割合は極めて高い。
- ・「人の気持ちが分かる人間になりたい。」と答える生徒の割合は高い。
- ・「家で、学校の宿題をしている」生徒の割合は極めて高い。
- ・「学校の規則を守っている」生徒の割合は高い。
- ・「今住んでいる地域の行事に参加している」生徒の割合は極めて高い。
- ・「普段の授業で自分の考えを発表する機会が与えられていると思う」生徒の割合は高い。
- ・「学校で友達に会うのは楽しいと思う」生徒の割合は高い。
- ・「数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」生徒の割合は高い。
- ・「400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くのは難しいと思う」生徒の割合は高い。
- ・「学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章を書いたりすることは難しいと思う」生徒の割合は高い。
- ・「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」生徒の割合は低い。
- ・「毎日同じくらいの時刻に寝ている」「毎日同じくらいの時刻に起きている」生徒の割合は低い。

調査結果を受けて

この調査を受けた児童生徒には、個々の成績表が配付されています。各々の努力の成果を確認するとともに、苦手分野の復習に努めるなど、改善に向けた対応をしていきます。

「朝食を毎日食べる」「学校のきまりを守っている」「地域の行事に参加している」などの割合が全国より高く、家庭や地域の協力のおかげで、豊田の子どもたちの生活や心がよい方向で安定していることがわかります。今後も、地域で子どもたちを見守る風土を大切にしたいと考えています。

教育委員会としては、この調査からわかる改善の必要な事項をまとめ、授業で活用できる具体的な指導例を示し、学校を支援します。また、学校の個別の改善計画についても助言します。各学校では、自校の子どもたちの結果をふまえて、授業の改善に取り組みます。また、学年を越えた指導が必要な事項については校内で共有し、学校全体のレベルアップを図ります。